

教育訓練教材作成のための ヒヤリハット情報提供 のお願い

鈴木智和 (大阪大学放射線科学基盤機構)
 桧垣正吾 (東京大学アイソトープ総合センター)
 高橋賢臣 (大阪大学安全衛生管理部)

放射性同位元素の規制に関する法律
 第 38 条の 4 許可届出使用者 (表示付認証機器使用者を含む。)、
 届出版売業者、届出賃貸業者及び許可廃棄業者は、この法律の規
 定に基づき、原子力の研究、開発及び利用における安全に関する
 最新の知見を踏まえつつ、放射線障害の防止及び特定放射性同位
 元素の防護に関し、業務の改善、教育訓練の充実その他の必要な
 措置を講ずる責務を有する。

放射性同位元素等の規制に関する法律施行規則
 第 21 条第 1 項 法第 21 条第 1 項の規定による放射線障害予防規程
 は、次の事項について定めるものとする。

- (1) - (14) 省略
- (15) 放射線障害の防止に関する業務の改善に関すること (特定許可
 使用者及び許可廃棄業者に限る。)
- (16) 省略

業務の改善について予防規程で定めなければならないのは特定許可
 事業者と許可廃棄業者だけだが、表示付認証機器使用者を含むす
 べての使用者に業務の改善や教育訓練の充実等の責任がある。



情報が公開されるのは「重大事故」だけ



もっと日常的に起きている
 トラブルを紹介して身近に
 感じてもらう事はできない
 だろうか？

JRSM 教育訓練検討委員会の活動

RI 施設における法令報告に至らない事故トラブル情報の

収集と情報共有に向けた取り組み

Action on collecting and sharing information of minor accidents and incidents at radiation facilities

○桧垣 正吾¹⁾, 鈴木 智和²⁾
 ○Shogo Higaki¹⁾, Tomokazu Suzuki²⁾

東京大学アイソトープ総合センター¹⁾, 大阪大学放射線科学基盤機構²⁾

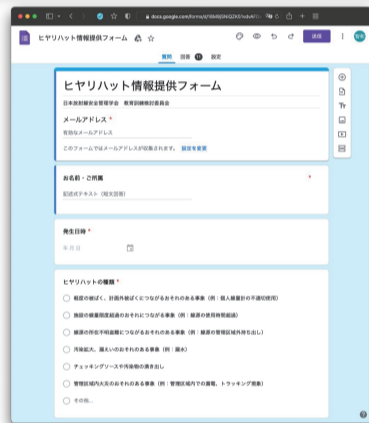
Isotope Science Center, the University of Tokyo¹⁾, Institute for Radiation Sciences, Osaka University²⁾

報告していただく項目は以下の 4 点である。

1. ヒヤリハット事象の種類 (以下から選択、あるいは自由記述)
 - ・ 軽度の被ばく、計画外被ばくにつながるおそれのある事象
 - ・ 施設の線量限度超過のおそれにつながる事象
 - ・ 線源の所在不明状態につながるおそれのある事象
 - ・ 汚染拡大、漏えいのおそれのある事象
 - ・ チェッキングゾーンや汚染物の湧き出し
 - ・ 管理区域内火災のおそれのある事象
2. 原因となった放射線源の種類
3. 内容
4. 対応

今後、情報提供者がメリットを感じてもらえる方策と、如何にして共有するかが検討課題になる。
 講演では、発表者の施設で今年度起きた事象を事例として紹介する。

第 3 回日本放射線安全管理学会日本保健物理学会合同大会 (2021/12/1-3)
 でヒヤリハット情報提供を呼びかけ、現在約 15 件の情報が提供されている。



具体的なヒヤリハット事例

放射線管理からの逸脱

1. 事例の概要
 放射性同位元素の取り扱いに際して、放射線計測器の点検・校正が適切に行われていないことにより、線量計測値が正確に反映されず、作業員が不必要に被ばくするリスクが生じた。

2. 原因
 点検・校正のスケジュールが厳格に守られておらず、作業員による点検・校正のスキップが頻りに発生していた。

3. 対応
 点検・校正のスケジュールを厳格に守るよう指示を出し、作業員に対する教育訓練を実施した。

ヒヤリハット事例は学術的に利用される方のみに公開します

汚染物の発生

1. 事例の概要
 放射性同位元素の取り扱いに際して、作業員が作業服を着用せずに作業を行ったことにより、作業服に放射性同位元素が付着し、作業場内への汚染物の発生が生じた。

2. 原因
 作業員に対する作業服の着用に関する教育訓練が不足していたことにより、作業員が作業服を着用せずに作業を行った。

3. 対応
 作業員に対する作業服の着用に関する教育訓練を実施し、作業服の着用を徹底させた。

今後の活動の展開

2022 年度 科学研究費補助金 基盤研究 (C)
 「ヒヤリハット事例を生かした放射線利用における安全文化
 醸成のための教材開発」
 (研究代表者: 鈴木智和、研究分担者: 桧垣正吾、高橋賢臣)

- ・ 情報提供用 Microsoft Forms を開設した。
- ・ 10 月頃に全国の大学・研究機関にヒヤリハット情報提供のお願いを発送する。
 - ・ 日本放射線安全管理学会事務局から発送します。
- ・ 大学・研究機関以外の施設には本大会で情報提供のお願いする。
- ・ アンケート調査を基に、重要なヒヤリハット事象や、その対応が良好なものについて、現地ヒアリング調査を行い、ヒヤリハットの原因やうまくいった仕組みを明らかにする。
- ・ アンケート調査およびヒアリング調査で集まったデータを分析し、教育訓練用パワーポイントの作成を行う。
- ・ 教材ではトラブル等が発生した事業所名を伏せる。
- ・ 原子力規制委員会へは教材になるまで情報提供を行わない。



ヒヤリハット情報提供先フォーム

Microsoft Forms にリダイレクトします。

<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~tomokazu/form22k02944.html>

(短縮 URL: <http://osku.jp/k0486>)



本事業は日本学術振興会科学研究費補助金 JP22K02944 の助成を受けています。